

～日頃の備えが大事～ 土砂災害に対する防災意識を高めましょう

新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表しました(令和7年1月)

- 令和7年4月現在、「土砂災害警戒区域」は5,231カ所を指定しています。
- 一方、県では、令和7年1月に新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」7,161カ所を公表しており、今後、詳細な調査を行うことで土砂災害警戒区域等の指定を進めていきます。
- 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」は山形県土砂災害警戒システムで確認できます。

土砂災害は主に土石流、がけ崩れ、地すべりの3種類に分類されます



大雨などにより、山や川の石や土砂が水と一緒に激しく流れ下る現象



雨や雪解け水、地震などの影響により、傾斜度が30度以上の土地が崩壊する現象



雨や雪解け水が地下にしみこみ、断続的に斜面がすべりだす現象

前
ぶ
れ

- ①川や沢の中でゴロゴロ音がする
- ②山鳴りや異常なおおいがする
- ③雨天でも川や沢の水が減る

- ①小石がパラパラ落ちてくる
- ②斜面にひび割れができる
- ③木が揺れたり傾いたりする

- ①池の水が濁ったり、減ったりする
- ②地面にひび割れや段差ができる
- ③地鳴りや山鳴りがする

土砂災害から命を守るために

- ①「どこ」が危ないか
危険な場所を確かめておこう!

ポイント

土砂災害警戒区域などの危険な場所を山形県土砂災害警戒システムや市町村のハザードマップで確認しよう!

- ②「いつ」逃げるのか
雨の情報や避難の情報を確かめよう!

ポイント

テレビや気象庁のホームページで雨の確認しよう!市町村からの避難の情報にも注意しよう!

- ③「どう」逃げるのか
正しい避難の方法を身につけよう!

ポイント

ハザードマップで、避難の場所や避難の方法を確認しよう!いざという時に持っていく物も準備、確認しよう!



詳しくは



気象庁



ハザードマップ

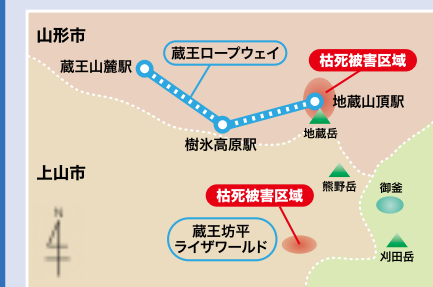
▶問い合わせ ◎ 砂防・災害対策課 ☎023-630-2614

マウンテン 魅力満点な やまがたの山を楽しみ、守り受け継ごう!

県民の宝「樹氷」の危機

蔵王連峰に自生する針葉樹のオオシラビソは、世界に誇る樹氷の土台となり、雄壮で幻想的な景観を生み出します。このオオシラビソが、虫の食害などにより広範囲に渡って枯れ、山形県での被害は約2万3千本にも達しています。

被害発生から10年以上経過し、枝が折れたり木が倒れるなどして、樹氷の存続が危機的な状況にあります。



地蔵岳山頂付近の枯死状況(遠景)



地蔵岳山頂付近の枯死状況(近景)

樹氷を次世代へつないでいくために

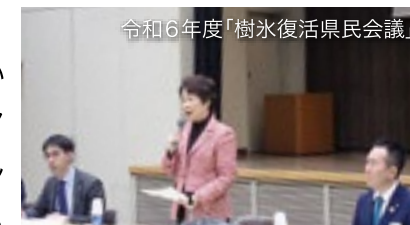
息の長い活動をコツコツと

県では、令和5年3月「樹氷復活県民会議」を設立。林野庁山形森林管理署と連携し、地域の方々や子どもたちとともに苗木の育成や稚樹の移植などの再生活動に取り組んでいます。



オオシラビソの再生をより着実に!

オオシラビソの再生をより着実に進めいくため、令和7年度から有識者や地元の方々や蔵王のオオシラビソ再生の道のりを協議しながら、中長期的な計画づくりに着手します。



やまがた百名山に行ってみよう!温泉や食を満喫しよう!

県内には、素晴らしい景観や眺望を持つ山や山菜などの恵みをもたらす身近な里山など、魅力あふれる山がたくさんあります。県では、そうした山々の中から「やまがた百名山」を選定しています。

深緑に包まれる夏山や、鮮やかな赤に染まる秋の山に足を運び、周辺の温泉や食とともに山の恵みを楽しみましょう!

県山岳情報ポータルサイト



県公式観光サイト



市町村・道の駅などで配布のやまがた百名山探訪マップもぜひ!!

▶問い合わせ ◎ みどり自然課 ☎023-630-3174